



117
555
3

清江玉卷之三目錄

○大系十首贈答和奇 西行 窅然

○六所至河和奇 山城 撰津 紀伊

○近來及士和奇 并三條

和奇 六首

和奇 徹書記

○十名和奇 草木鳥

○回文和奇 頌河 逍遙院

○或六字和奇 共三首

此五字
此四字

○ 五言詩

三首

○ 五言文字奇

一首

○ 繪贊和奇

九一首

名公作九一首



清和玉卷之三

○ 大系十首（たけうたの）繪贊和奇

山家集 入道（いげ）兼光（かねみつ）大系（たけうた）十首（じゅうしゅう）繪贊和奇

西行法師

山家集
入道兼光大系十首繪贊和奇
西行法師
山家集
入道兼光大系十首繪贊和奇
西行法師
山家集
入道兼光大系十首繪贊和奇
西行法師



○ 六折出川の歌

あつちの山を越えては
あつちの川を渡りて
あつちの里を歩きて
あつちの歌をうたへ
あつちの酒を飲んで
あつちの女を愛して
あつちの世を生きよ

あつちの山を越えては
あつちの川を渡りて
あつちの里を歩きて
あつちの歌をうたへ
あつちの酒を飲んで
あつちの女を愛して
あつちの世を生きよ

潛北玉卷之三目錄

○大系十首贈答和奇

西行 窅然

○六所玉河和奇

山城 攝津
武藏 陸奥

近江 紀伊

○近來及士和奇 并三條

和奇

六首

和奇

徹書記

○十名和奇 草木鳥魚出

頤阿 逍遙院

○回文和奇

光廣 逍遙院

○所六字和奇 共五字 共四字

共三首

○ 五七調奇

三首

○ 五七調文字奇

一首

○ 繪賛和奇

九一首

名公作九一首



Faint vertical text in the upper left corner of the right page, possibly bleed-through or a secondary title.



諸法玉卷之三

○ 大系十首たけの徳巻和奇

山家集

入道やま兼基と大系たけの十首じゅうしゅう徳巻和奇

~~~~~

西行法師

Multiple columns of vertical Japanese text in cursive (sōsho) style, enclosed in a rectangular border. The text is densely packed and spans most of the page's width.



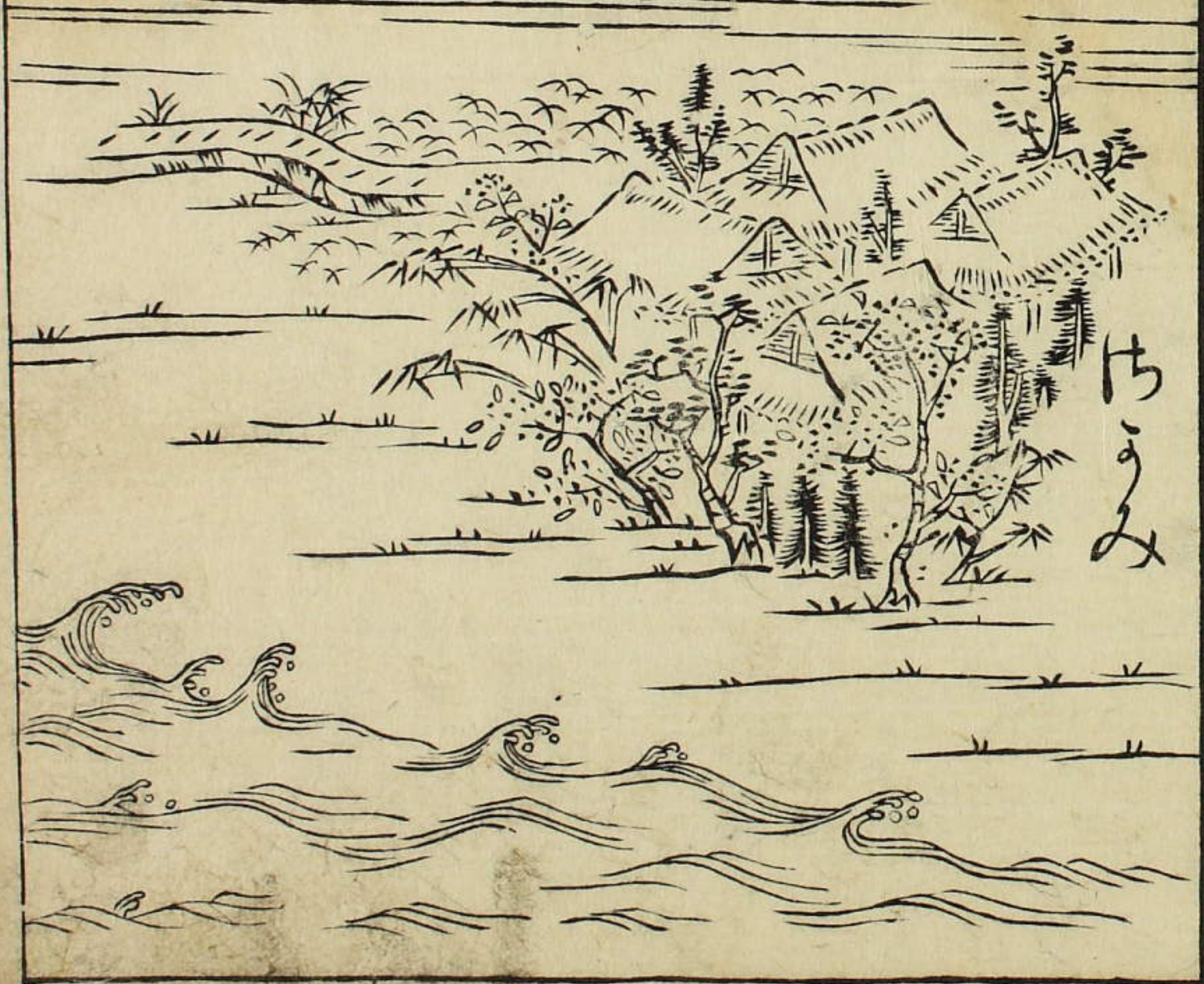
○六軒<sup>ちよ</sup>出川のちよ

あはれなる御心遣ひに  
あはれなる御心遣ひに  
あはれなる御心遣ひに  
あはれなる御心遣ひに  
あはれなる御心遣ひに  
あはれなる御心遣ひに  
あはれなる御心遣ひに  
あはれなる御心遣ひに  
あはれなる御心遣ひに  
あはれなる御心遣ひに

あはれなる御心遣ひに  
あはれなる御心遣ひに  
あはれなる御心遣ひに  
あはれなる御心遣ひに  
あはれなる御心遣ひに  
あはれなる御心遣ひに  
あはれなる御心遣ひに  
あはれなる御心遣ひに  
あはれなる御心遣ひに  
あはれなる御心遣ひに



玉川 舟屋  
 玉川 舟屋  
 玉川 舟屋  
 玉川 舟屋  
 玉川 舟屋  
 玉川 舟屋  
 玉川 舟屋  
 玉川 舟屋



玉川 山城  
 玉川 山城  
 玉川 山城  
 玉川 山城  
 玉川 山城  
 玉川 山城  
 玉川 山城  
 玉川 山城





















めぬれうらたゆく毎の月をくわね法をうじふ乃う

○牡丹

寛永十三年三月 仙洞沖高丸

佛製

かひとせれあつたり花ぞとくをれり花ゆり葉ひ

堯然

母法院云

うすくは花の白くもあつみ葉あつたつとてあふ

道晃

照高院云

月も白く花もあつたつとてあつたつとてあつたつとて

通村

中院

あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつとて

実取

刊野

あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつとて

雅宣

あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつとて

琴音

園

あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつとて

仲彦

初彦云

あつたつとてあつたつとてあつたつとてあつたつとて



通純 中院

あつたてのついでにふりかへて

氏成 水原

あつたてのついでにふりかへて

備後

あつたてのついでにふりかへて

貞起 岩倉

あつたてのついでにふりかへて

資成

あつたてのついでにふりかへて

為宗 冷泉

あつたてのついでにふりかへて

あつたてのついでにふりかへて

真部 ふりかへて

あつたてのついでにふりかへて

実隆

あつたてのついでにふりかへて



○月十着和歌

徹書記

二日月

まろけあつこおれはさくらんぼのうらうらとあきらめり月夜

と張月

あやふさふさの月影さくらんぼのうらうらとあきらめり月夜

八月十着和歌

すけをあらはぬさくらんぼのうらうらとあきらめり月夜

不知月

をれをみまらぬさくらんぼのうらうらとあきらめり月夜

三日月

花さかぬさくらんぼのうらうらとあきらめり月夜

二日月

さくらんぼのうらうらとあきらめり月夜

古月

月のうらうらとあきらめり月夜

三日月

月をみまらぬさくらんぼのうらうらとあきらめり月夜

五日月



Handwritten text in a cursive script, likely a date or a short message.

九月十二日

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or a name.

○十名和家

和十

和河法師

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or a title.

和十

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or a title.

和十

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or a title.

和十

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or a title.

和十

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or a title.

○田文并

和河

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or a title.

和河

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or a title.



光原

Handwritten text in a cursive script, likely a title or introductory line.

○ 本寺の御書 本寺の御書 (本寺院御書)

Handwritten text in a cursive script, possibly a date or location.

修徳物宛に (Shutoku Mononaka ni)

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or address.

後人等 (Gojin no Hitodachi)

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or seal.

付明

Handwritten text in a cursive script, likely a title or introductory line.

○ 本寺の御書

Handwritten text in a cursive script, possibly a date or location.

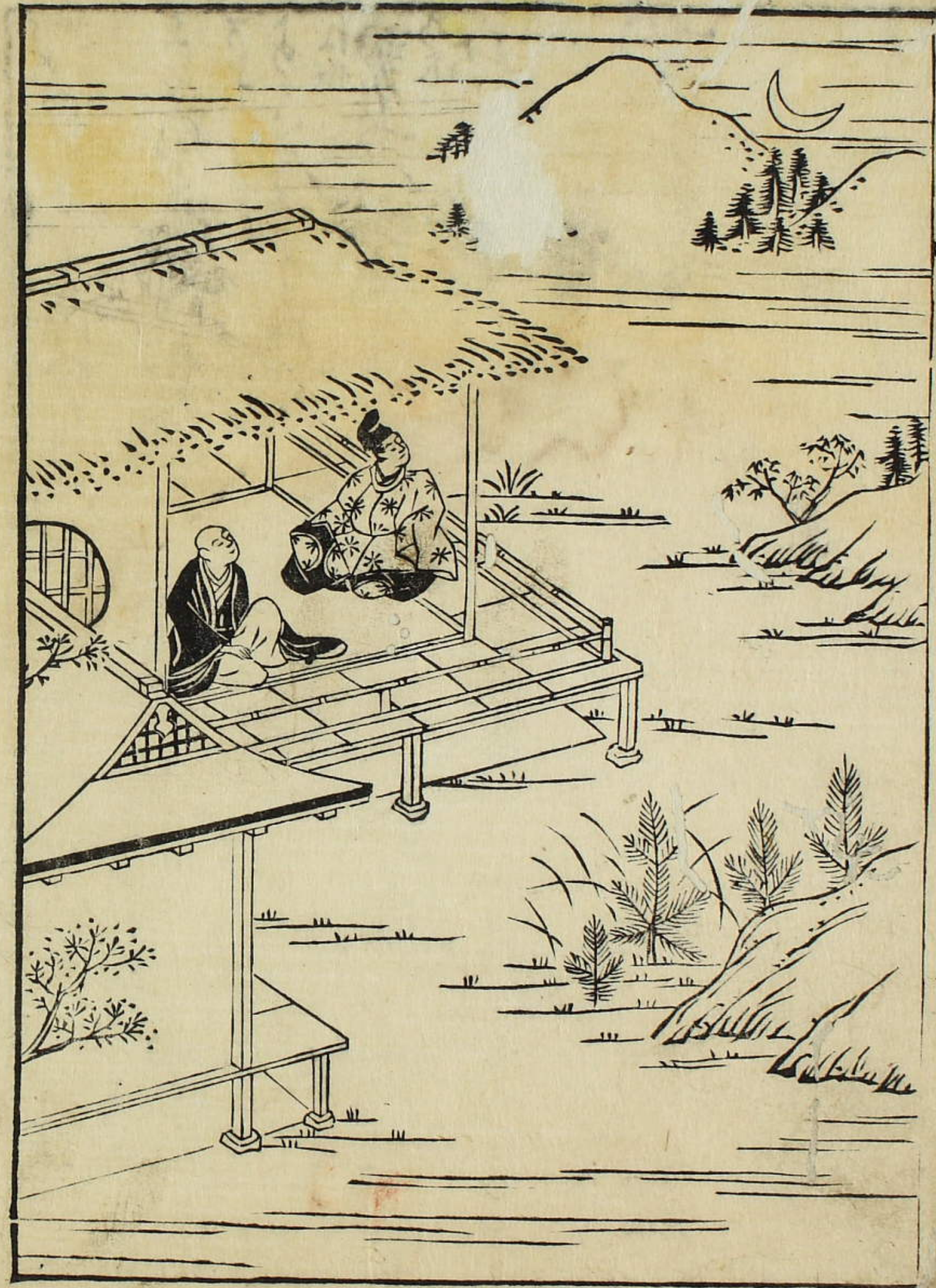
Handwritten text in a cursive script, possibly a name or address.

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or seal.

○ 本寺の御書

Handwritten text in a cursive script, likely a title or introductory line.











竹の葉のいろよ

~~~~~

竹と菊との縁

~~~~~

落の縁

~~~~~

山のおまの縁

~~~~~

杉木の鳥の縁

友のぬきあひのいろあはれかり流の杉木ぬきあひ

~~~~~

~~~~~

浦のいろあはれあひの杉木ぬきあひ

~~~~~

人形

~~~~~

~~~~~

猿猴の縁

~~~~~



袖録奇の繪

の... 袖録奇の繪... 道徳院

は... 人の質... 道徳院

は... 秋... 道徳院

一曲よみて早懐とやぬい

美... 人の... 道徳院

○ 守

系 正 懐

道徳院

あ... 系 正 懐

わ... 系 正 懐



表浦原

いよせんるあぬ後の表浦原もたうとあつたに

様引

あふ

らひ 山崎のあつたあつたあつたあつた

あつた

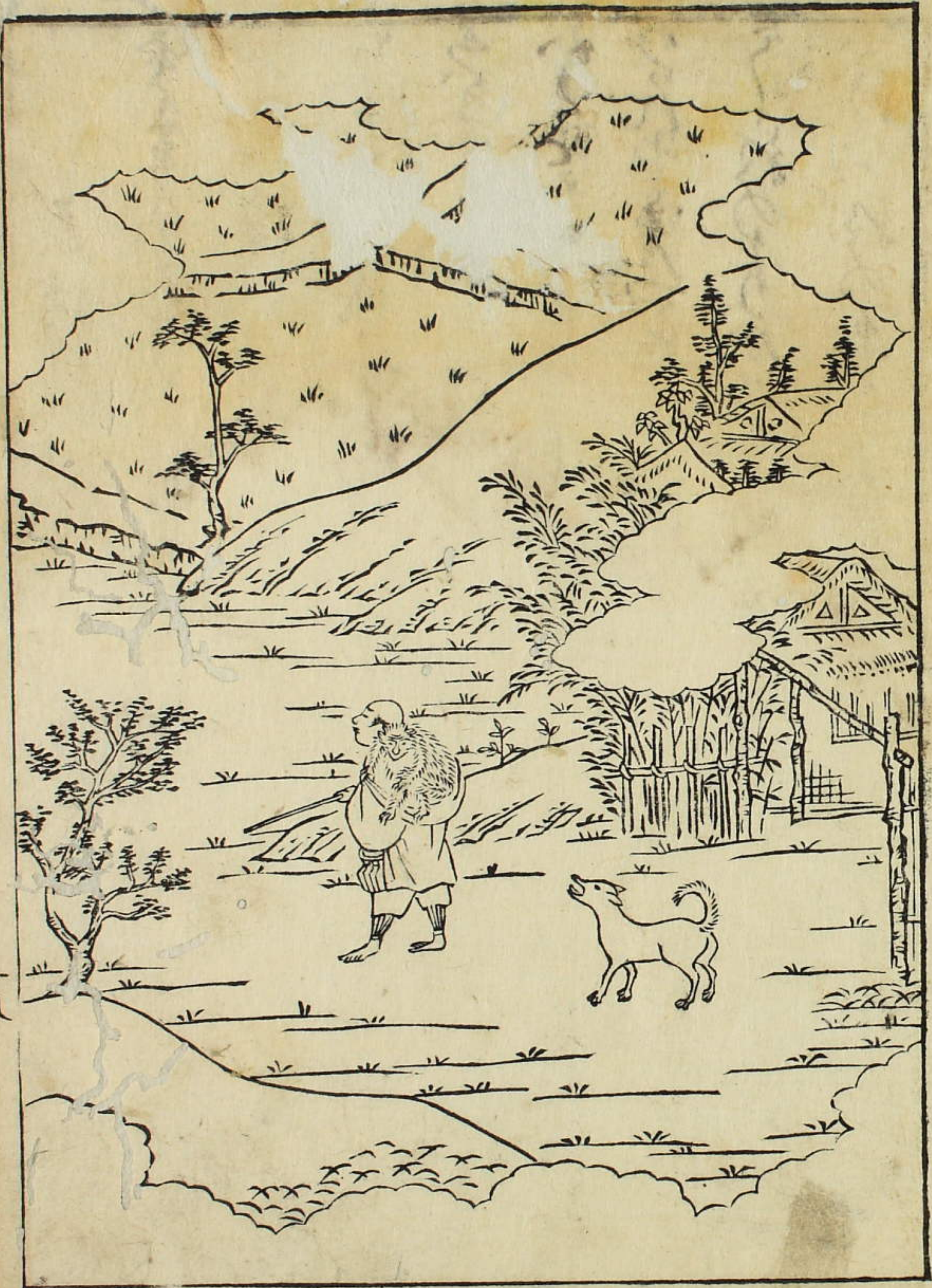
あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた

あつた

あつた

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつた









三  
路ありしむらゆらふふたりのこゝろをさすの途  
眼差の作りこゝろをさす此ありしむらゆらふふたりのこゝろをさすの途  
ふらゆらふふたりのこゝろをさす

ふわりの此路をさすしむらゆらふふたりのこゝろをさす  
ふらゆらふふたりのこゝろをさす

此路をさすむらゆらふふたりのこゝろをさす

寄書屋つとむらゆらふふたりのこゝろをさす 吾名

まてたけしむらゆらふふたりのこゝろをさす  
あふり青れこゝろ 照子院文乃自見 生

こゝろのむらゆらふふたりのこゝろをさす

寄書屋つとむらゆらふふたりのこゝろをさす 吾名

ふらゆらふふたりのこゝろをさす

あふり青れこゝろ 吾名

こゝろのむらゆらふふたりのこゝろをさす

絶去しむら

ふらゆらふふたりのこゝろをさす

諸君玉三巻 終



